

第3期千葉市国民健康保険事業財政健全化に向けたアクションプランの取組結果について

資料2

【趣旨】国民健康保険事業の財政赤字は、平成19年度以降収支不足が生じており、平成22年度においては累積赤字が約119億円に達するなど厳しい財政状況であった。
そこで、平成23年度に「千葉市国民健康保険事業財政健全化に向けたアクションプラン」を策定し、3期10年間にわたり、歳入の確保と歳出の抑制に関する数値目標を定めたうえで収支改善に努めてきた。

指標ごとの状況（歳入の確保）

指標		第3期アクションプラン					R3の評価、第3期AP総括、全期AP総括、今後の予定		
		H30	R1	R2	R3	R3目標達成状況			
歳 入 の 確 保	口座振替加入率 (%) (※1)	目標	56.3	57.5	58.8	60.0	○	【取組み内容及び目標値に対する評価】 健康保険課徴収対策班（平成31年4月に設置）において、納付相談時にその場で口座登録できるペイジー口座振替受付サービス（以下「ペイジー」）を活用した口座振替勧奨を実施。 また、各区役所窓口においても、国保加入手続きの際等にペイジーを活用した口座振替勧奨を前年度から引き続き実施した結果、申込件数が増加。（ペイジー申込件数 R2：7,903件→R3：8,219件） Webから口座登録ができるWeb口座振替受付サービス（平成29年1月から導入）について、当初決定通知書等にチラシを同封したことや各種通知書の封筒等にWeb口座振替の周知文を記載し普及啓発に努めた。 その結果、申込件数が増加し、本年度の目標が達成した。（Web口座申込件数 R2：523件→R3：626件） 【今後の予定】 上記取り組みを引き続き実施するとともに、口座振替加入率の低い低年齢層や外国人世帯に対して、郵送による口座振替勧奨を行う予定。	
		実績	○ 56.8	○ 57.5	58.1	61.3			
	電話催告延べ件数 (件)	目標	71,000	76,000	81,000	86,000	×	【取組み内容及び目標値に対する評価】 徴収対策についてはH31.4以降は健康保険課徴収対策班で実施しているため、区役所からの電話催促の減少。 また、市税等納付推進センターによる架電において、過去3か月の間に滞納管理システムに何かしらの交渉記録があった場合に架電を制限をしたことから、架電件数は減少。 【今後の予定】 市税等納付推進センターに対し、交渉歴の記載があっても、滞納処分に影響を与えない範囲で架電するように依頼した。	
		実績	55,998	45,138	25,889	20,653			
	滞納処分における 差押金額（千円）	目標	175,000	185,500	196,600	208,400	○	【取組み内容及び目標値に対する評価】 健康保険課に徴収対策班の設置、統一滞納整理組織の発足といった組織体制の見直しにより、差押業務に注力することが可能となり、目標を達成。 【今後の予定】 引き続き、財産を発見した滞納者については、差押を実施する。	
		実績	○ 242,675	○ 545,743	○ 448,798	1,012,627			
	所得無申告世帯数 (世帯)	目標	7,644	7,107	6,587	6,096	○	【取組み内容及び目標値に対する評価】 ①令和3年2月（令和2年度）に令和3年度賦課のための所得申告勧奨文書を発送。 ②令和3年7月に所得申告書を同封した申告勧奨文書発送。 ③令和3年10月に申告勧奨をしてもなお無申告の者に対する納付推進センターからの電話による申告勧奨を実施。その結果、目標を達成した。 【今後の予定】 引き続き、各種手続きの際に所得申告状況を確認し、無申告者への申告勧奨を行う。	
		実績	○ 6,614	○ 6,361	○ 5,920	5,855			
	収 納 率 (%)	現年分	目標	90.5	92.3	92.8	93.3	△	【取組み内容及び目標値に対する評価】 ・現年分・・・ 例年行っている現年度のみ滞納者への納付書付文書催告のほか、「督促から1月経過した滞納者への催告書の送付」やSMS（ショートメッセージサービス）を使用した催告を実施及び差押の強化により、令和3年度収納率は93.1%となり、前年度より0.3% [※] 上昇したが、目標を達成できなかった。 ・滞納繰越分・・・ 市税事務所で差押等の処分を中心とした滞納整理の実施により、20.1%となり、前年度より3.9% [※] 上昇したが、目標を達成できなかった。 ・全体・・・ 全体については、上記取組み等を実施したことから82.2%となり、前年度より0.2% [※] 上昇し、目標を達成した。 【今後の予定】 更なる滞納繰越額の削減、収納率向上のため、口座振替の推進や所得未申告者数の削減のほか、適正な滞納整理やSMSを使用した催告等に取り組む。
			実績	○ 91.5	○ 92.3	○ 92.8	93.1		
滞納繰越分		目標	20.1	20.6	21.1	21.6	△		
		実績	○ 22.3	○ 20.0	○ 16.2	20.1			
全体 (参考)		目標	76.2	78.7	79.2	79.8	○		
		実績	○ 77.5	○ 79.2	○ 80.0	82.2			

達成状況 ○：目標達成 △：目標未達だが、前年度と比べ改善 ×：目標未達
※1 特別徴収分は総数（分母）から除外

指標ごとの状況（歳出の抑制）

指標		第3期アクションプラン					R3の評価、第3期AP総括、全期AP総括、今後の予定	
		H30	R1	R2	R3	R3目標達成状況		
歳	医薬品全体に占めるジェネリック医薬品数の割合（％）（※2）	目標	73.5	77.0	80.0	81.0	×	【取組み内容及び目標値に対する評価】 ジェネリック医薬品に切り替えた場合の差額通知発送、ジェネリック医薬品希望シールの配布、市政だよりによる普及啓発を実施。 全国的なジェネリック医薬品の供給不足により、ジェネリック医薬品の使用割合は、目標値を超える月（R3年5月調剤分（81.4%））もあったものの、80%台を推移する結果となった。 【今後の予定】 ジェネリック医薬品の使用割合が8割以上を維持できたが、全国的なジェネリック医薬品の供給不足の影響もあり、使用割合の向上が厳しい状況も予想されるが、差額通知発送などを継続し使用割合を高めていく。
	実績	76.9	79.5	80.9	80.6			
出	第三者行為に係る求償委託件数（件）	目標	245	255	260	265	×	【取組み内容及び目標値に対する評価】 レセプトの傷病名や特記事項から、第三者行為による事故等が疑われるものを抽出して全件チェックし、負傷原因調査を経て国保連合会への委託につなげた。 また、負傷原因調査の未回答者に対し回答の催促を行うなどの取り組みも行っている。 しかしながら、交通事故等が年々増加していくとは考えにくいため、目標件数は達成できなかった。（千葉市内の交通事故発生件数 R3:2,193件 R2:2,015件 R1:2,667件 H30:3,025件） 【今後の予定】 レセプトから第三者行為に係る負傷と判明後、被保険者が「第三者の行為による被害届」に時間を要している案件に対して電話や文書による催告を行い、第三者行為の求償実績を向上させていく。
	実績	190	188	159	136			
抑	特定健康診査受診率（％）	目標	39.5	41.0	42.5	44.0	×	【取組み内容及び目標値に対する評価】 民間のマーケティング手法を活用し対象者の特性に合わせた勧奨通知の発送や電話勧奨を実施、継続受診の促進をするため前年度受診者に対し健診結果をグラフ化した通知を発送。 令和元年度から職場健診等の健診結果提供者へインセンティブを付与している。また、令和2年度から次年度健診対象となる39歳の方へ通知を送付し健診の啓発を実施。 その結果、平成30年度は目標達成したが令和元年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響による受診機会等の減少がみられ目標は未達成。 【今後の予定】 勧奨内容や方法の見直しを行い、医師会や関係機関と連携しながら上記の取り組みを引き続き実施していく。
	実績	39.5	37.6	31.9 (31.8) ※5	(31.5) ※6			
制	特定保健指導実施率（％）	目標	16.5	18.0	19.5	21.0	×	【取組み内容及び目標値に対する評価】 令和元年度から専門職による利用勧奨と保健指導の一体的実施や積極的支援に加え動機付け支援についても民間事業者へ委託するとともに、委託医療機関への研修を実施し特定保健指導の充実強化を図ったが、特定保健指導実施率は目標値には届いていない。 【今後の予定】 上記の取り組みを引き続き実施するとともに、ウェアラブル端末を利用した保健指導など特定保健指導の利用につながる取り組みを実施する。
	実績	13.0	15.4	17.1 (11.7) ※5	(10.7) ※6			

達成状況 ○：目標達成 △：目標未達だが、前年度と比べ改善 ×：目標未達
※2 『後発医薬品／（後発医薬品のある先発医薬品＋後発医薬品）』の数量シェア ※5 括弧はR3.6月末時点の数値 ※6 R4.6月末時点の数値 確定は11月頃

【総括】 「千葉市国民健康保険財政健全化に向けたアクションプラン」に基づき、国民健康保険事業特別会計として、保険料の改定、徴収対策の強化及び歳出の抑制を行い、収支改善に取り組んできた。
その結果、千葉市国保の財政は健全化され、累積赤字の解消を目的としたプランの目的は達成したことから、第3期に続くアクションプランの策定は行わない。
しかしながら、今後も適切な歳入確保や歳出の抑制といった健全な事業運営に努めていく必要があるため、他の既存の計画などにより、目標を持って取り組みを進めていく。

保険料の収納・・・目標収納率等の設定等については、「債権管理対策実施計画」の中で管理。 ※債権管理対策実施計画にて、前年度に翌年度の目標を設定。
ジェネリック医薬品等の取組み・・・年度当初に策定する国民健康保険事業計画において目標を設定。
第三者行為に係る求償・・・第三者行為求償事務の取組として取組目標を設定。
保健事業・・・第2期千葉市国民健康保険データヘルス計画（H30～R5年度）を策定し、PDCAサイクルに沿った保健事業を実施しており、その中で特定健診受診率・特定保健指導実施率の設定。

収支の推移 (単位:億円)

区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度
法定外繰入金	4.6	36.2	22.3	40.0	37.0	38.6	38.4	50.0	16.0	6.4	5.3	5.2
単年度収支	△44.3	1.5	1.7	17.3	14.3	7.9	21.6	55.2	6.3	7.6	10.0	4.2
累積赤字	△119.5	△118.0	△116.3	98.9	84.7	76.8	55.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0